

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	医療人基礎Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	通年	教室名	第3校舎 901教室
担 当 教 員	泉谷 信行	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
学生の本分を学び、校外学習やイベントに参加し医療人としての心構えを習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
受講態度、課題レポートを総合的に評価する。評価の基準は、この授業で達成すべき目標をどの程度理解したかによる。						
①素点(レポート、小テスト、実技実習) 70%						
②出席評価点 20%						
③平常点(授業へ取組む姿勢) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書						
《授業外における学習方法》						
各授業で習得したものを纏める						
《履修に当たっての留意点》						
医療人形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後について考えるようにしてほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	イベント参加によりチームの大切さを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める	
		各コマにおける授業予定	ハイフェスに参加してチーム連携する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	イベント参加によりチームの大切さを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める	
		各コマにおける授業予定	ハイフェスに参加してチーム連携する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	イベント参加によりチームの大切さを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める	
		各コマにおける授業予定	ハイフェスに参加してチーム連携する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	イベント参加により医療人として就職の厳しさを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人として職業理解し纏める	
		各コマにおける授業予定	就職フェアに参加して面接を経験する。			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	イベント参加により医療人として就職の厳しさを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人として職業理解し纏める	
		各コマにおける授業予定	就職フェアに参加して面接を経験する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	イベント参加により医療人として就職の厳しさを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人として職業理解し纏める
		各コマにおける授業予定	就職フェアに参加して面接を経験する。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床現場の聞くことで仕事の実際を理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	現役臨床で活躍する先生より仕事の役割の話を書く		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床現場の聞くことで仕事の実際を理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	現役臨床で活躍する先生より仕事の役割の話を書く		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場の聞くことで仕事の実際を理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	現役臨床で活躍する先生より仕事の役割の話を書く		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場に適応できる医療人としての心構えを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	臨床実習について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場に適応できる医療人としての心構えを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	臨床実習について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場に適応できる医療人としての心構えを理解する。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	臨床実習について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療人として職業理解を含めて目標を明確にする。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	授業の受け方などを再確認して纏める
		各コマにおける授業予定	後期に向けての準備		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療人としての就職への意識を高める。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としての仕事への心構えを纏める
		各コマにおける授業予定	ジョブカードの活用について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療人としての就職への意識を高める。	教科書は指定せず、必要に応じて資料を配付する	医療人としてコミュニケーションの必要性を纏める
		各コマにおける授業予定	ジョブカードの活用について		